2026年６月10日

各　位

会 社 名　　株 式 会 社 エ ス エ ル デ ィ ー
代表者名　　代表取締役社長　　有　村　　譲
（コード：3223　東証スタンダード）
問合せ先　　代表取締役社長　　有　村　　譲
（TEL. 03－6866－0245）

THE SLD ECOLOGICAL PROJECT 2026
収益性改善およびSDGsへの取り組みに関するお知らせ

当社は、全店舗の水光熱費率削減を通じて全社の収益性を改善する経営施策「THE SLD ECOLOGICAL PROJECT 2026（通称：ecoチャレ）」を2026年６月より始動いたしましたので、お知らせいたします。

記

1.　背景と目的

当社は飲食・カフェ業態を中心に国内複数店舗を運営しています。近年のエネルギーコストの上昇は、各店舗の収益性に直接影響を与える重要な経営課題です。

本プロジェクトは、水光熱費率の改善を通じて全社の収益性を直接向上させることを主目的としています。全店舗が共通の施策に取り組み、成果とノウハウを組織全体で共有・横展開することで、コスト削減を継続的な収益改善の仕組みとして定着させることを目指します。あわせて、エネルギー使用量の削減はSDGsへの貢献にも直結するものであり、収益性向上と環境への責任を同時に実現する取り組みとして位置づけています。

2.　プロジェクトの概要

正式名称	THE SLD ECOLOGICAL PROJECT 2026
通称	ecoチャレ
対象	当社運営の全店舗（国内飲食・カフェ業態）
実施期間	2026年６月～2027年２月（約10ヶ月間）
2026年度目標	**全社売上高対水光熱費率　前年同期比　0.5ポイント改善** **（＝全社収益性　0.5ポイント向上）**
関連するSDGs	目標７（エネルギー）・目標12（資源）・目標13（気候変動）

3.　SDGsとの関連

本プロジェクトにおけるエネルギー使用量の削減は、以下のSDGs目標の達成にも貢献するものです。

【目標７】　エネルギーをみんなにそしてクリーンに：全店舗における電力・ガス・水道の使用効率を見直し、クリーンエネルギーの有効活用を推進します。

【目標 12】　つくる責任 つかう責任：店舗オペレーション全体における資源消費を継続的に見直し、持続可能な運営体制を構築します。優良事例の全社横展開により、改善文化の定着を図ります。

【目標13】　気候変動に具体的な対策を：エネルギー使用量削減によるCO_2排出量の抑制を通じて、気候変動対策への貢献を図ります。

4.　今後の方針

当社は本プロジェクトの成果を踏まえ、次年度以降も収益性改善目標を継続的に設定・開示してまいります。水光熱費率の改善による収益体質の強化と、環境への取り組みを通じたサステナビリティ経営の推進を両輪として、企業価値の継続的な向上を目指してまいります。

5.　業績への影響

本企画が当期業績予想に与える影響は軽微です。

以上